

第1回のまとめ

1. 立場ごとに矛盾する苦情と逆苦情

立場ごとに様々な課題・悩みがあり、1つの苦情に対応すると、その対応への苦情が出るなど、様々な思いが混在している。みどりは大切だと思っている人は多いが……。

2. みどりに対する区民の共通認識が重要

苦情やその対応への苦情に対して、ただ単純に「行政が対応していればいい」「個人で対応すればいい」ではなく、立場をこえて、それぞれのみどりについて、共通認識が必要である。

3. 個人的な苦情から円卓会議へ

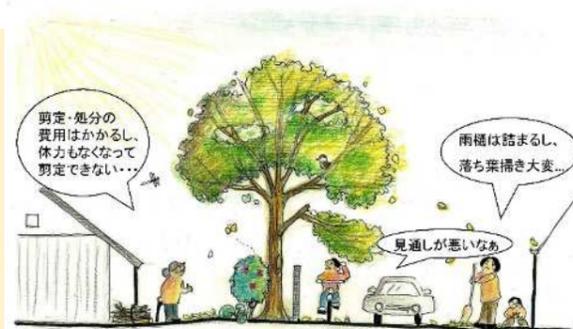
少し具体的にいうならば、個人対個人、個人対行政という対応では解決できないので、いろいろな人がお互いの立場を十分に共有できる場をつくる等、「地域の中でのみどりへの対応」を考える必要がある。

4. みどりに関する既存仕組みの点検と新たな展開

緑化協力員、憩いの森、公園、保護樹林など、既存の制度や組織・団体をさらに有効活用するとともに、新たな有効活用方策や仕組みを考える必要がある。

5. 落ち葉と剪定枝についての仕組み・取り組みを

落ち葉や剪定枝の処理、剪定方法等について、仕組みを考え、取り組んでいかないと解決しない。



こんな時、どうしよう？
どんな対応をすることにしよう？



これでよかったのかな…
他にどんな対応があったのだろうか？



全体スケジュール（予定）

年度	平成28年度					平成29年度						
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
みどりの 区民会議	12/15		3/16		5/11		第4回					第5回

みなさまからの声を募集中です！感想やご意見などをお寄せください！
練馬区みどりの区民会議事務局（環境部みどり推進課みどり協働係 中原）

〒176-8501 練馬区豊玉北6-12-1 練馬区役所本庁舎18階

電話 03-5984-2418 FAX. 03-5984-1227 電子メール midorisuisin04@city.nerima.tokyo.jp

第1回 練馬区 みどりの区民会議 「身近なみどりの課題・悩みについての意見交換」

平成28年12月15日（木） 18:30～20:30

練馬区役所本庁舎地下多目的会議室

みどりは、潤いや豊かさを与えてくれる一方、日照や枝葉、落ち葉などの課題があります。また、民有地のみどりを個人で守っていくにも限界があります。

練馬のみどりを区民の財産として守り育てるために、区民参加で考え、具体的な行動につなげることを目的に「練馬区みどりの区民会議」が設置されました。

メンバーは、公募区民、地域活動団体、樹林の所有者、農業者、町会自治会、学生、子育て中の方、事業者などの26名です。平成28年から29年にかけて全5回実施します。地域のみどりを守り育てる新しい協働のあり方や管理のあり方、仕組み等を考え、提案し、みどりの基本計画へ反映させるとともに、区は、実現に向けて施策を展開していきます。

第1回では、25名にご参加いただき、区からの練馬のみどりに対する課題の説明を受け、それぞれの立場からの身近なみどりに関する悩みや問題点等を“本音”で出し合い、率直かつ活発な意見交換が行われました。



区長からのあいさつ



参加者全員で車座になり区からの説明を受ける



ワークショップでの熱のこもった意見交換



盛りだくさんの意見発表と
全体のまとめ

様々な立場から、たくさんの課題や悩み、問題点が見えてきました！どの班も「落ち葉や剪定枝の問題・有効活用について」「剪定方法や強剪定などの具体的な管理方法について」の意見が共通して挙げられました。また、「公園、憩いの森、街路樹などの公共のみどり」「お庭や保護樹林などの宅地のみどり」「農地」の管理や消失についてのご意見や有効活用のアイデアも出てきました！

落ち葉や剪定枝の問題 有効活用について

< 樹木所有者 >

○落ち葉の清掃が大変。毎日落ち葉掃きをしてもお隣さんから「もっと早く掃いて」と言われてしまう。
保護樹木の落ち葉用ごみ袋が全然足りない。1回のごみに出せる量も足りず、家に袋を積んで置いている。

< 周囲の方 >

隣の家の落ち葉は風物詩だと思っていた。バッサリ切られてさびしく思う。
保護樹木（マツ）の落ち葉が周りの家の雨樋にも落ちて、始末が大変。
だれが悪いとかではなく、それぞれで落ち葉掃きを。落ち葉に対して良い印象や、意識が高まるには？

有効活用

○落ち葉を捨てるのは抵抗がある。苦情の出ない有効活用をするべき！堆肥、腐葉土、焼き芋、野焼きなど。
○剪定枝や枝葉材を区でリサイクルセンターにまわせないか？チップ利用等できたらいい。
○腐葉土づくりをしてみたい。農家の方のノウハウも活かして。
○ぬかを使った腐葉土は臭いが出るが、石灰窒素を使った腐葉土なら臭いがなく、苦情も来ない。
○区民会議に落ち葉チームを設置し、活かす方法をみんなで考えよう！

お庭、保護樹林などの宅地のみどりの管理・消失について

< 樹木所有者 >

樹木が飛び出しているという苦情が頻繁に来る。
相続税、固定資産税の負担。
造園業者との見積と請求の金額の違いによるトラブル。
高齢になると樹木の管理が難しい。いつまで維持できるか？
樹木や生垣などの手入れに時間がかかる。
適正な管理とは？
家の周りの落ち葉を優先するため、敷地内まで手が回らない。
一方で、手伝ってくれる近所の方もいる。
手入れをしないと敷地内に粗大ごみが捨てられる。治安も心配。
保護樹木、保護樹林を残す方法は？
「庭のお手入れ」忙しさとやり方がわからず、放置してしまう。
落ち葉で嫌な思いをしている人がいると思うと、木を切らざるを得なかった。大切な木の存在を地域で共有し、庭を残したい。
伐採するのであれば、その木を有効活用する（例：まな板）

< 周囲の方 >

自宅の周りのみどりが減少して寂しい。
地域のシンボルになっている樹木、運動してでも残したい。
空き家の樹木が管理されていない。
民家の落ち葉が道路に落ちていて、迷惑に感じる人もいる。
区画整理で屋敷林が無くなってさびしい。
相続税が高い。大規模な宅地開発で、新しい住宅にはほぼみどりが無い。
新築する時点で、周りを意識して庭の植栽を考えなければならない。
庭に何も植えられていない戸建が多くある。

農地の問題・消失、食育について

< 周囲の方 >

○農地がどんどん減っている。
○知り合いの農家さんの農地が無くなる。
○作物の名前が分からない。
子どもに教えてあげたい。
生産者と知り合えない。

< 農業者 >

○畑の土埃の問題。自分で柵を作って対策したが、解決していない。

その他（制度、施策、意識など）

みどりの大切さを知ることなく育った。

○美化意識の向上（「我が街は、自分の庭です」）。
○大泉学園、きれいなまち！と思う。誇りのまちです。
緑化協力員制度の見直し（元協力員としては、必要ないと感じている）。
議会レベルでの維持・管理予算の検討。
昔は、区が苗木の配付をしていた記憶があるが、今もやっているのか？
今後増えると予想されるクレーマーへの対策。
学生の関わり方、学生ができる事は何か？
区民に、みどりに対してプラスのイメージを持ってもらえる施策。
困りのタネと思われているのでは？

剪定方法や強剪定などの具体的な管理方法について

< 利用者 >

季節外れに剪定し、花が咲かない。
強剪定で、みどりが少なく感じる。
子どもと木の観察をしたいが、強剪定によって、何の木が分からない。
なぜ強剪定するのか、理解できない。
公園などの樹木を強剪定しないで管理するには？
区の職員や剪定業者が、勉強不足？

< 管理者 >

○強剪定すると苦情を受ける。する方も心苦しい。
< 憩いの森所有者 >
屋敷森を強剪定すると、明るくはなるが、冬は北風が強く吹き、防風林の機能が落ちて寒い。

公園、憩いの森、街路樹など公共のみどりの管理 有効活用について

< 利用者 >

○利用されていない公園や森が多く、もったいない！
お金をかけているのは何のため？？？
公園管理で、雑草がボウボウ、クモの巣だらけの時がある。
○公園が機能していない！！立派な公園はあるが、ほとんど人のいる時がない。魅力がないと、子どもたちが遊ばない。
公園の木が大きくなりすぎて、暗い。明るいと遊びに来る。
公園を掃除しすぎて木の実が拾えない。
公園に日影が少なく、子どもを安心して遊ばせられない。
公園で焼き芋ができない。
大泉第三小前の公園、とてもきれいにしていると思う。
公園や街路樹の樹木類の水管理は誰がやっているのか？
冬の朝は公園の水道の出が悪い。
憩いの森のパンフレットが高齢者向けに感じる。
利用が増えるような改善ができるのでは。
夏場は蚊が多い（杉並区と比較して）。
暗くて、入ると危険そうな憩いの森もある。
枝を振り回している子どもがいると、あたらないか怖い。
子どもと緑と安全が心配（防犯面） 利用価値が下がる。
害のない毛虫は、説明書き等で教育に活用できないか？
学校の樹木が少ない。
学校のみどりの手入れ不足（管理費用の問題？）。
学校の緑がなくなると鳥の移動経路が絶たれてしまいそう。
街路樹の管理で気になることがある。
道路新設(四面塔稲荷の傍など)の際に、車道・歩道とできるが、逆にみどりが減少する。道路をつくる途中でも、みどりを植えてほしい。
○とにかく管理費がかかる。
誰かが勝手に植えた植栽が目立つ。
樹名板はあるが、植物の名前以上の情報がない。
樹木の古枝が落ちてきて危険。
木が枯れ始めているのが目立つ。
生物多様性のことまで考えているか。

< 管理者 >

クレーマーへの適切な対応（落ち葉、なぜ草を抜く？なぜ強剪定する？窓から子を見るための勝手な剪定） みんなの公園として使ってもらいたい。
公園利用者のマナー向上（犬の糞の処理、トイレ詰まりや砂場の砂ふるい、タバコの吸い殻ポイ捨て、利用後の後片付けなど）
○犬の飼い主のマナーが悪い。
公園管理のルールが区内一律では対応できない。ルールの変更が必要。
老木はどうしていけばよいのか。
公園の中に腐葉土桶がなくなった。
○害虫が出ても薬剤が使用できない。

有効活用

市民活動でもっと自由に緑地を使いたい！
制約が多すぎる！住民と管理者の歩み寄りが必要！
数多くサークルがあるが、個々に機能ある活動になっていますか？
憩いの森等の有効活用がされているか？南高松憩いの森の「森もりファンクラブ」が良い！
緑化協力員の卒業生の組織化。
公園の枝や落ち葉をこどもと一緒に拾えたら。遊びながら、学びながら管理委員会で教えられないか？

ワークショップの内容を要約・整理して掲載しています。

公園・憩いの森

学校

街路樹